

平成 25 年度

9 月補正予算の主な事業説明書

諫 早 市

目 次

※諫早市総合計画の政策施策体系にもとづき整理したもの。

【】書きは、政策施策体系の「基本目標」、◎印は「まちづくりの羅針盤」

ページ

【活力ある産業づくり】

◎魅力ある農林水産業

園芸ハウス長寿命化支援事業《新規》…………… 1

◎活力ある商工業

栄町東西街区市街地再開発支援事業…………… 2

【暮らしの充実】

◎安全安心な暮らし

消防会館整備事業…………… 3

園芸ハウス長寿命化支援事業《新規》

総合計画の位置付け

【活力ある産業づくり】 ◎魅力ある農林水産業

これまでの経緯及び目的

本市では、これまでも農業者団体等が規模拡大等のために取組む園芸ハウス等の整備に対し支援を行ってきた。今回新たに、県において既存の園芸ハウスの長寿命化、遊休施設の移転に対して補助制度が新設されたため、本制度を活用して市も支援を行い、施設園芸の振興を図る。

事業概要

《事業主体》 認定農業者並びに認定農業者で組織する集団
《事業期間》 平成25年度～
《事業内容》 法定耐用年数（8年）を経過した園芸施設（ビニールハウス）において、老朽化した部材を交換・補強、または遊休施設の移転に対し、県補助と併せて市の上乗せ補助を行う。
[補助率] 県：1/3以内、市：1/10以上

事業費

9月補正事業費	24,606千円
県支出金	18,926千円
一般財源	5,680千円

年度別事業内容

25年度 9月補正	26年度以降
園芸ハウス長寿命化 18戸、316a 遊休ハウス移転 2戸、18a	・継続して実施

事業実施による効果

既存施設部材の交換・補強及び遊休施設の移転整備を行うことにより、既存施設の活用を延長することで、設備投資に係る負担軽減と産地の維持拡大につながる。

事業担当課

農林水産部 農業振興課

(8款-3項-2目-園芸振興事業)

栄町東西街区市街地再開発支援事業

総合計画の位置付け

【活力ある産業づくり】 ◎活力ある商工業

これまでの経緯及び目的

「諫早市中心市街地活性化基本計画」に基づき中心市街地を活性化するため、市街地再開発事業を手法として新たな商業施設の計画的な立地誘導や、市街地の高度利用に伴う定住人口の増加を図る。平成24年度は都市計画決定・事業計画作成を行い、平成25年度は実施設計・権利変換計画作成等を行う。平成26年度以降に建物工事に着工し、平成28年度の竣功を目指す。

事業概要

- 《 事業主体 》 諫早市栄町東西街区市街地再開発組合（設立認可申請中）
- 《 事業期間 》 平成24年度～平成28年度
- 《 事業内容 》
 - 地区面積 : 約0.8ha
 - 敷地面積 : 約 6,100㎡
 - 建築面積 : 約 4,600㎡
 - 延床面積 : 約25,100㎡
 - ・東街区 約 6,200㎡
(4階建 店舗、事務所、保育所)
 - ・西街区 約18,900㎡
(14階建 店舗、駐車場、分譲マンション)
 - 総事業費 : 約52.4億円

事業費

9月補正事業費	67,345千円	
(財源内訳)		
国庫支出金	33,430千円	
県支出金	13,372千円	
その他	20,000千円	(諫早市産業活性化基金繰入金)
一般財源	543千円	

年度別事業内容

24年度以前	25年度 9月補正	26年度以降
H24 都市計画決定 事業計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤調査 ・実施設計 ・権利変換計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利変換計画認可 ・既存建物解体工事 ・建物工事

事業実施による効果

低層老朽化市街地を市街地再開発事業により建て替えることによって、商業機能の高度化、街なか居住の促進、土地の高度利用と防災性を確保することで、中心市街地の活性化が図られる。

事業担当課

商工振興部 商工観光課

(9款-1項-3目-中心市街地活性化計画推進事業)

消防会館整備事業

総合計画の位置付け

【暮らしの充実】 ◎安全安心な暮らし

これまでの経緯及び目的

消防会館については、昭和53年に施設整備のための基金が設置されており、合併後に諫早市消防団組織が拡大されたことに伴い、早急な施設整備が待たれていた。今回、基本設計が完了した諫早消防署新庁舎建設工事と併せて、諫早市消防団本部機能となる消防会館を合築整備し、円滑な消防団活動を支援する。

事業概要

- 《 事業主体 》 諫早市・県央地域広域市町村圏組合
- 《 事業期間 》 平成24年度～平成26年度
- 《 事業内容 》 建設場所：諫早市鷺崎町221番地1
 消防会館 約530㎡（消防署4階部分）
 【消防団本部事務室、大会議室、展示スペース、倉庫など】
 - 消防署庁舎 R C造4階建 延床面積 約5,700㎡

内訳

 - 1階：緊急車両車庫及び器具室
 - 2階：消防署事務室及び書庫
 - 3階：本部及び指令課事務室
 - 4階：消防団本部事務室及び消防署研修室
 - 関連施設 延床面積 約1,400㎡
 - ・訓練棟3棟…主訓練棟（1棟：5階建）
訓練棟（2棟：4階建）
 - ・車庫及び倉庫棟（平屋建）

事業費

総事業費 177,000 千円
 9月補正事業費（債務負担行為） 146,000 千円

年度別事業内容

24年度以前	25年度	26年度	
	9月補正	債務負担行為	
・基本設計、地質調査業務等	・建設工事 ・工事監理業務	・建設工事 ・工事監理業務	・備品購入

事業実施による効果

諫早消防署と合築整備することで、消防署及び消防団間の密接な連携が確保され、円滑な消防団活動を推進することができる。

事業担当課

総務部 総務課

（11款－2項－3目－消防会館整備事業）